

X 病害虫総合管理集団育成事業

1. 課題名：スクミリンゴガイの総合防除（2年目）

- 1) 対象作物名： 水稻
- 2) 対象病害虫名： スクミリンゴガイ
- 3) 集団設置市町村名： 諫早市小野島町
- 4) 集団名及び代表者名： ジャンボタニシ防除対策推進協議会小野支部  
代表 小野支部長 藤山 武美

5) 事業の実施内容

① 河川等の対策

① 貝及び卵の捕殺

( 各農家による捕殺・シルバー人材の活用 )

② 水田の対策

① 貝及び卵の捕殺

② 浅水管理による食害防止

③ 薬剤防除・・・キタジンP粒剤の集団的利用

時 期	生育ステージ	実 施 内 容	備 考
6月 上 中 下	田植え	河川等の貝・卵の 捕殺 薬剤による防除	
7月 上 中 下		河川等の貝 卵の捕殺	
8月 上 中 下	幼穂形成期	河川等の貝 卵の捕殺	
9月 上 中 下	出穂期 入熟期		
10月 上 中 下	収穫期		

## 6) モデル集団の設置

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	管理者	備考
諫早市小野島町	700ha	630ha	5～11月	藤山武美	

## 7) 事業検討会の開催実績

会議名称	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
事業実施計画検討会	5月10日	諫早農協小野支所	28名	市・農協・生産者代表	植種の方法
事業実施状況検討会	5月30日	"	28名	"	植種日決定
	8月10日	"	28名	"	シルバー人材センターの活用について
事業実績検討会	11月8日	"	28名	"	被害の結果について

## 8) 調査圃場の設置

設置場所	設置内容
諫早市小野島町	浅水管理とキタジンP粒剤の集団的利用効果

## 9) 調査圃における病害虫発生調査実績

### ① 病害虫発生経過の概要

クリークでは、4月下旬から産卵が始まり、6月中旬導水と共に水田へ侵入し、田植え後6月29～7月3日の豪雨により水田内に多発した。

### ② 被害調査の概要

7月上旬までに捕植を要した面積500ha

### ③ 成果の概要

豪雨により浸冠水したため、浅水管理が不可能となったので田植え後3～7に施用したキタジンP粒剤の効果も判然としなかった。

### ④ 今後の課題

- ① 浸冠水防止のための圃場用排水対策
- ② 地域貝密度減らしのため、貝・卵捕殺の続行

2. 課題名：水稻主要病害虫の総合防除（2年目）

1) 対象作物名：水稻

2) 対象病害虫名：ウンカ類・コブノメイガ・いもち病・紋枯病

3) 集団設置市町村名：諫早市川内町

4) 集団名及び代表者名：諫早農協普通作部会小野支部川内町新地班

原 浩 一

5) 事業の実施内容

① 集団的減農薬水稻栽培の実践

② 減農薬栽培の効果確認

6) モデル集団の設置

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	管理者	備 考
川内町新地	20ha	20ha	6～11月	原 浩一	

7) 対策検討会の開催実績

会議名称	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
事業実施計画検討会	4月10日	川内町新地	10名	防除班・普及班・市・農協	設置場所内容検討
	5月16日	〃	20名	〃	設置農家への説明
事業実施状況検討会	7月16日	〃	〃	〃	害虫の見分け方
	8月1日	〃	〃	〃	〃
	8月18日	〃	〃	〃	〃
事業実績検討会	10月10日	〃	25名	〃	被害状況検討会

8) 調査圃場の設置

設置場所	設置内容
諫早市川内町新地	減農薬栽培の効果

## 9) 調査圃における病害虫発生調査実績

### ① 病害虫発生経過の概要

ウンカ類は、6月下旬～7月中旬多飛来したが、9月以降のトビイロウンカの増殖量は、多くなかった。  
コブノメイガは、8月中旬～9月上旬に中発。  
紋枯病は、中発、イモチ病は、少発であった。

### ② 被害調査の概要

セジロウンカ成虫が多く寄生したため、初期生育が若干抑制されたが、7月下旬からの防除と8月の好天により、被害は、ほとんど発生しなかった。

### ③ 成果の概要

周辺は、5～6回防除に対し本集団は、7月下旬カルホスツマサイドDL、8月上旬バダントレボンDL、9月中旬レルダンアプロードツマモンカットDLの3回防除で病害虫被害を殆ど回避した。

### ④ 今後の課題

- ①発生状況巡視、防除対策協議活動の続行
- ②病害虫診断防除要否判断力の養成

3. 課題名：大豆ハスモンヨトウの総合防除（2年目）

- 1) 対象作物名           大豆
- 2) 対象病虫害名       ハスモンヨトウ
- 3) 集団設置市町村名   波佐見町
- 4) 集団名及び           岳辺田生産組合  
代表者氏名           代表者：松下直幹

5) 事業の実施内容

- (1) フェロモントラップをもちいた発生消長調査  
2ヶ所（2トラップ）で実施
- (2) 発生消長調査に基づく効率的防除の実施  
・防除適期時の広報活動等

6) モデル集団の設置実績

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
波佐見町	13 ha	13 ha	8～10月	

7) 事業検討会の開催実績

会議等名	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
事業実施計画検討会	7月14日	役場	名 10	市町村、農協、普及所、防除所	実施計画立案
事業実施状況検討会	9月13日 10月12日	現地	10 10	同上及びモデル集団代表者	発生状況調査、防除時期検討
事業実績検討会	11月21日	役場	15	同上	実績検討と次年度計画について

8) 調査圃場の設置

設置場所	農家氏名	トラップ数	備考
波佐見町岳辺田	松下 直幹	2	

9) 調査圃における病害虫発生調査実績

(1) 病害虫発生経過の概要

8月中旬より若齢幼虫が目立ち始め、9月以降多発。

(2) 被害調査の概要

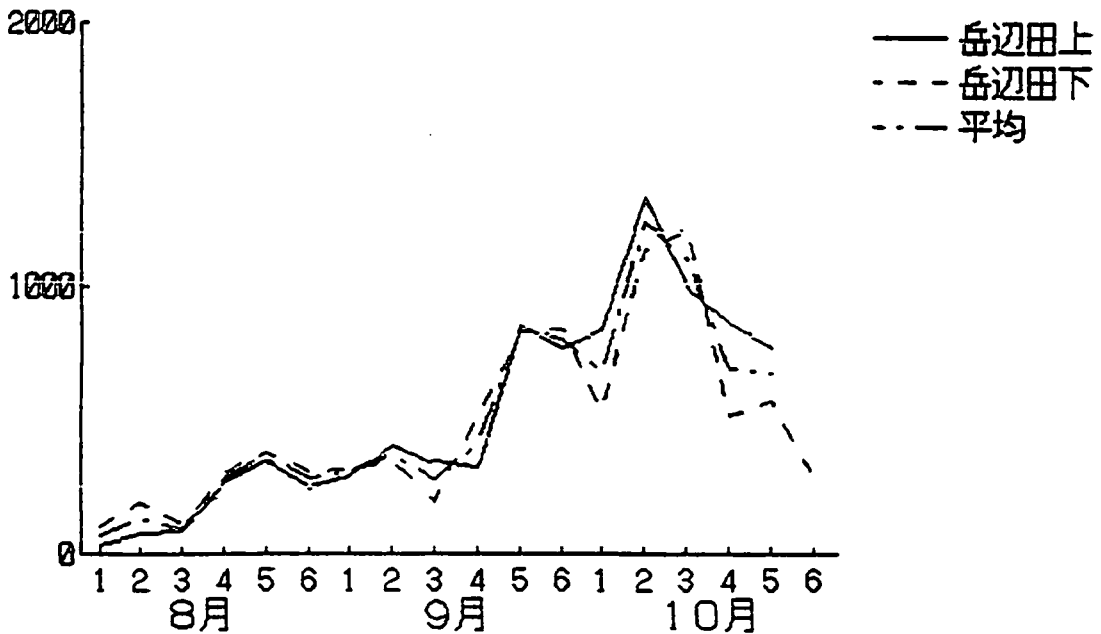
9月の多発生により、ほとんどの圃場が被害を受け、葉を食害され茎だけの圃場も多数あった。

(3) 成果の概要

本年は発生量が多量に発生したのでフェロモントラップによる防除適期の把握は十分できなかったが、地域ぐるみの一斉防除は2回実施され、集団での病害虫防除という面では成果があった。

(4) 今後の課題

- ・多発条件下での効率的な防除体系の確立
- ・事業終了後、どのように定着させ、継続していくか。



フェロモントラップによるハスモンヨトウの発生消長(平成2年)

4. 課題名：みかんチャノキイロアザミウマの総合防除（2年目）

- 1) 対象作物名 温州みかん
- 2) 対象病害虫名 チャノキイロアザミウマ
- 3) 集団設置市町村名 多良見町
- 4) 集団名及び代表者名 多良見町農協柑橘研究会同志会 会長 西川篤志
- 5) 事業の実施内容
  - 1) 黄色粘着トラップによる発生消長調査
    - ・3支部×3トラップ=9トラップで実施
  - 2) 発生消長調査に基づく適期防除の推進
    - ・防除適期時の広報活動等
  - 3) 効率的防除体系の確率

6) モデル集団の設置

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
多良見町	150 ha	150 ha	6～11月	

7) 事業検討会の開催実績

会議等名	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
事業実施計画検討会	5月21日	農協	名10	町、農協、普及所、防除所	実施計画と内容について
事業実施状況検討会	10月29日	現地	15	同上及びモデル集団代表者	実施状況及び被害調査について
事業実績検討会	1月24日	農協	15	同上	実績検討

8) 調査圃場の設置

実施場所	設置内容
多良見町佐瀬郷 // 野川内郷 // 元益郷	黄色粘着トラップを設置し、6～9月に1週間毎調査。

9) 調査圃における病害虫発生調査実績

(1) 病害虫発生経過の概要

発生消長は3地点ともほぼ同様であったが、発生量は場所による差が大きく佐瀬郷はかなり多かった

(2) 被害調査の概要

3地点の平均被害果率は果梗部2%、果頂部13%と前年(果梗部2%、果頂部42%)に比べかなり低率であった。

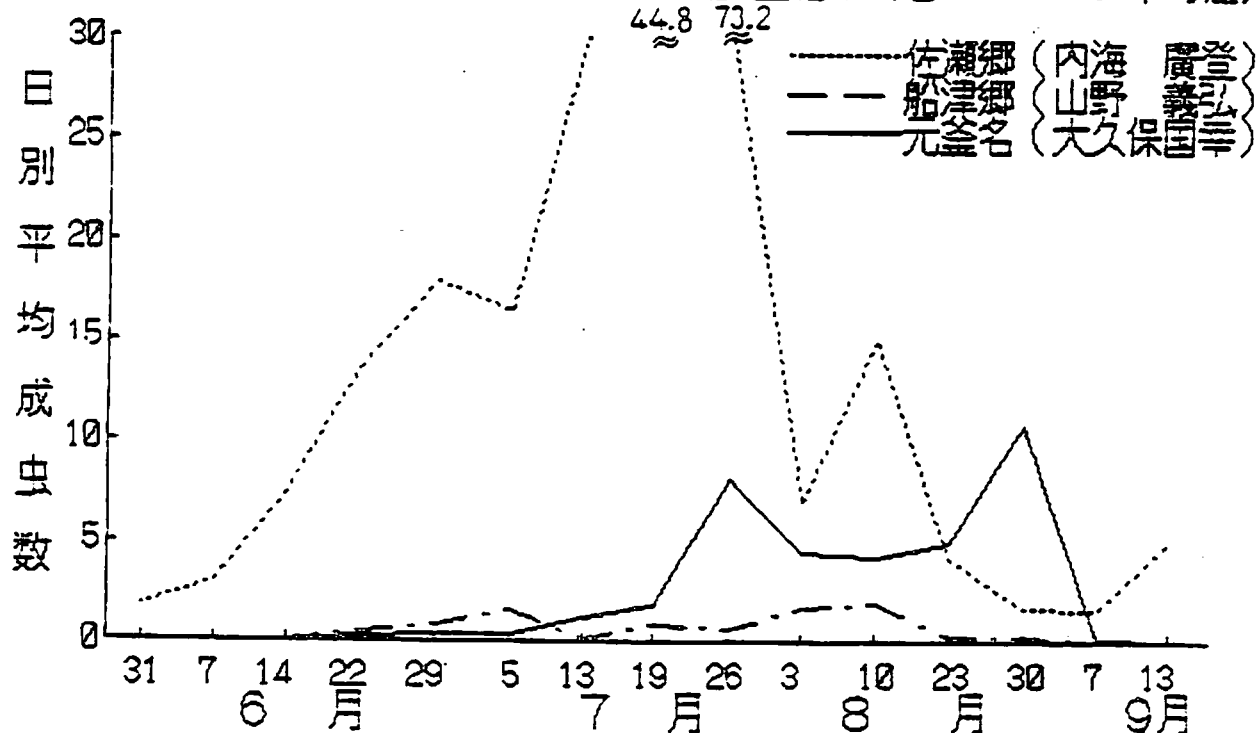
(3) 成果の概要

発生消長調査に基づいた的確な防除が実施されたと思われる。

(4) 今後の課題

当集団における効率的防除体系を確立するために、今後とも発生消長調査を継続していく必要がある。

チャノキイロアザミウマ発生消長調査結果(各3トラップ平均値)





5. 課題名：はくさい根こぶ病総合防除（2年目）

1) 対象作物名 はくさい

2) 対象病害虫名 根こぶ病

3) 集団設置市町村名 島原市

4) 集団名及び代表者名 島原市農協白菜部会大手原支部  
代表者：大手原支部長 本多 敏光

5) 事業の実施内容

- ①根こぶ病対策の検討
- ②根こぶ病対策の推進
- ③発生調査の実施
- ④調査圃の設置

6) モデル集団の設置

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備 考
島原市三会地区	15ha	4ha	8～3月	白菜部会大手原 支部長 本多敏光

7) 事業検討会の開催実績

会 議 名	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
実施計画検討会	12月上旬	会議室	10名	県総合農試、 防除所、普及所、 市、農協	展示圃の計画 薬剤防除の検討
実施状況検討会	2月下旬	展示圃	10名	〃	生育調査
実績検討会	3月下旬	会議室	12名	〃	

8) 調査ほ場の設置

設 置 場 所	設 置 内 容
島原市大手原町	農業試験 ①MTF651 ②フロンサイド ③ダコソイル

## 9) 調査ほにおける病害虫発生調査実績

### (1) 病害虫発生経過の概要

各種農薬に対しては発生は見られなかった。

### (2) 被害調査の概要

根の被害はなかったが生育阻害が一部見られた。

### (3) 成果の概要

今普及しているダコソイルで十分対応できる。

### (4) 今後の課題

対菌性が考えられるので新農薬の早期登録を願う。

6. 課題名：スクミリンゴガイの総合防除（1年目）

1) 対象作物名 水稲

2) 対象病害虫名 スクミリンゴガイ

3) 集団設置市町村名 吾妻町

4) 集団名及び代表者名 浜ノ田 森田 治義

5) 事業の実施内容

補種による効果があがらないためにクタジンP粒剤散布によりスクミリンゴガイの防除に努めた。

6) モデル集団の設置

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	管理者	備考
浜ノ田	5.4ha	5.4ha	6下	森田 治義	

7) 対策検討会の開催実績

会議名称	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
事業実施計画検討会	6月	雲仙農協 守山支所	10名	町、農協 生産者代表 普及所、防除所	実施圃場の決定 散布方法時期
事業実施状況検討会	6月	守山支所 現地	15名	〃	効果の確認 被害調査
事業実績検討会	7月	守山支所	15名	〃	調査結果とりまとめ 次年度の防除計画

8) 調査圃場の設置

設置場所	設置内容
浜の田	田植後3日目にクタジンP粒剤を10a当り3kg散布

## 9) 調査圃に於ける病害虫発生調査実績

### (1) 病害虫発生経過の概要

河川から浸入したスクミリンゴガイが水田内で増殖して水稻に被害を及ぼすようになった。

### (2) 被害調査の概要

水稻への被害はなかったが、スクミリンゴガイの生息は若干みられた。

### (3) 考 察

キタジンP粒剤散布による防除効果は充分みられた。

### (4) 今後の課題

河川、用排水路等における補殺と、水田内のキタジンP粒剤散布により、総合的な対策を推進する。

7. 課題名：水稲主要病害虫総合防除（1年目）

1) 対象作物名 水稲

2) 対象病害虫名 ウンカ・コブノメイガ・いもち病・紋枯病

3) 集団設置市町村名 森山町

4) 集団名及び代表者名 森山町釜良質米生産組合 代表 山口 健一

5) 事業の実施内容

- (1) 肥培管理技術と要防除水準にもとづいた病害虫防除を組合せた防除体系の推進
- (2) 本田防除回数の低減（本集団3回 他域5回）

6) モデル集団の設置

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
森山町	17.6ha	2ha	6月～10月	

7) 事業検討会の開催実績

会議名	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
実施計画検討会	7月13日	農協	12名	町、農協 普及所、防除所 生産者	実施計画立案
実施状況検討会	8月8日	現地	10名	〃	実施状況及び 被害状況検討
実績検討会	11月19日	農協	14名	〃	実績検討及び 次年度計画

8) 調査ほ場の設置

設置場所	設置内容
森山町田尻名東中仕切	2ha

## 9) 調査ほにおける病害虫発生調査実績

### (1) 病害虫発生経過の概要

今年は飛来の時期が早く、しかも回数も多く、平年より非常に多くの飛来量がみられた。又、紋枯病、籾枯細菌病も地域によって多くの発生がみられた。

### (2) 被害調査の概要

モデル圃場において調査

### (3) 成果の概要

早期より現地での発生状況及び被害調査を実施し適期防除に努めたことにより散布回数をへらし又、病害虫の発生をへらすことができた。

### (4) 今後の課題

病害虫の発生状況の把握を定期的に観察検討し、適期に有効な防除を行ない、必要最小限度薬剤散布による稲作実践モデル集団を育成する。

8. 課題名：大豆ハスモンヨトウの総合防除（1年目）

1) 対象作物名 大豆

2) 対象病害虫名 ハスモンヨトウ

3) 集団設置市町村名 森山町

4) 集団名及び代表者名 下名大開地区生産組合 代表 土井 豊

5) 事業の実施内容

- (1) フェロモントラップを用いた発生活消長調査
- (2) 発生活消長調査に基づいた効率的防除
- (3) 共同防除

6) モデル集団の設置

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備 考
森山町	18ha	18ha	7月～11月	

7) 事業検討会の開催実績

会 議 名	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
実施計画検討会	7月20日	農協	8名	町、農協 普及所、防除所 生産者代表	実施計画立案
実施状況検討会	7月31日 8月30日	現地	45名 50名	町、農協 普及所、防除所 生産者	発生状況調査 防除時期検討
実績検討会	11月9日	下名公民館	45名	〃	実績検討と 次年度計画

8) 調査ほ場の設置

設 置 場 所	設 置 内 容
森山町下名大開	フェロモントラップ 1ヶ所

## 9) 調査ほにおける病害虫発生調査実績

### (1) 病害虫発生経過の概要

別紙の通り

### (2) 被害調査の概要

モデル圃場において調査

### (3) 成果の概要

飛来頭数が多く発生消長がつかめなかった。  
フェロモントラップの設置ヶ所が少なかった。(面積に対して)

### (4) 今後の課題

フェロモントラップの設置ヶ所を2ヶ所以上にする。  
発生初期の共同防除。

### (別紙) ハスモンヨトウ誘殺数

調査日	頭数
7月25日	503
8月1日	669
6日	516
11日	641
17日	647
21日	423
27日	689
31日	465
9月6日	597
11日	543
17日	631
21日	463
26日	471
10月1日	460
6日	450



9. 課題名：みかんチャノキイロアザミウマの総合防除（1年目）

- 1) 対象作物名 温州みかん
- 2) 対象病虫害名 チャノキイロアザミウマ
- 3) 集団設置市町村名 佐世保市
- 4) 集団名及び代表者名 佐世保市農協宮地区柑橘部会 代表者 橋川忠義
- 5) 事業の実施内容
  - 1) 黄色粘着トラップによる発生消長調査  
・2支部×1トラップ=2トラップで実施
  - 2) 発生消長調査に基づく適期防除の推進
  - 3) 効率的防除体系の確立

6) モデル集団の設置

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備 考
佐世保市	150 ha	150 ha	6～11月	

7) 事業検討会の開催実績

会議等名	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
事業実施計画検討会	7月16日	農協	8名	市、農協、普及所、防除所	実施計画と内容について
事業実施状況検討会	11月5日	現地	10	同上及びモデル集団代表者	実施状況及び被害調査について
事業実績検討会	12月6日	農協	10	同上	実績検討と次年度計画

8) 調査圃場の設置

実施場所	設置内容
佐世保市宮地区茅原野田	黄色粘着トラップを設置し、7～11月に1週間毎調査。

9) 調査園における病害虫発生調査実績

(1) 病害虫発生経過の概要

発生消長は2地点ともほぼ同様であった

(2) 被害調査の概要

茅原における被害果率は43%、野田では26%であった。

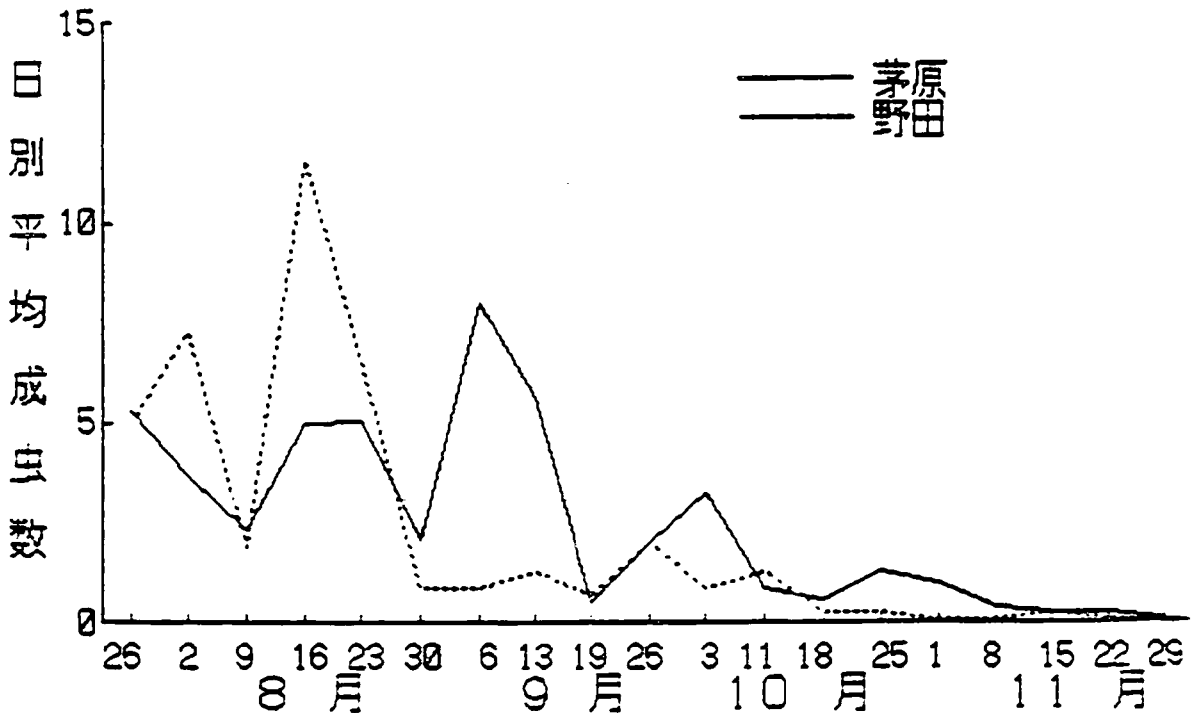
(3) 成果の概要

野田での被害量は少なかったが、茅原ではやや高率であったため防除回数が少なかったためではないかと思われる。

(4) 今後の課題

当集団における効率的防除体系を確立するために、発生消長調査の継続必要がある。

チャノキイロアザミウマ発生消長調査結果



10. 課題名：トマト灰色かび病の総合防除（1年目）

1) 対象作物名 トマト

2) 対象病害虫名 灰色かび病

3) 集団設置市町村名 東彼杵郡川棚町

4) 集団名及び代表者名 東彼農業共同組合小串ハウス利用組合  
組合長 一ノ瀬 久義

5) 事業の実施内容

- (1) 温湿度管理等による耕種的防除の徹底
- (2) 耐性菌検定による薬剤の合理的組合せ防除の推進

6) モデル集団の設置

設置場所	作付面積	発生面積	設置期間	備考
東彼杵郡 川棚町小串郷	2.4ha	全体	平成2年11月～ 平成3年3月	

7) 事業検討会の開催実績

会議名	開催時期	開催場所	構成員数	構成員の範囲	検討事項
実施計画検討会	平成2年 10月9日	東彼農協	12名	生産者、川棚町 農協、普及所 防除所	実施計画及び 業務打合せ
実施状況検討会	平成3年 1月19日	〃	11名	〃	病害の発生 状況と対策
実績検討会	〃 3月12日	〃	12名	〃	調査結果反省 及び次年度対策

8) 調査ほ場の設置

設置場所	設置内容
東彼杵郡川棚町小串郷団地ハウス	耐性菌検定による薬剤の新防除体系の実証

## 9) 調査ほにおける病害虫発生調査実績

### (1) 病害虫発生経過の概要

### (2) 被害調査の概要

トマトハウス団地内に展示区、慣行区を設置し比較調査を行った。

### (3) 成果の概要

今年度は例年に比べ灰色かびの発生が少なく又新規薬剤等の導入もあり対象区の差が見受けられなかった。

### (4) 今後の課題

今年度は比較的被害が少なかったが、新規薬剤の効果を持続させるためにも旧薬剤とのローテーション及び土壌管理、温湿管理の組み合わせ技術向上が求められる。